

チューンはさまざまだけど、や なってしまった。

7位 フェアレディ280Z-T

14.75秒

森 健(大阪府)



ホンダのS8やGTRも持ってたけど、最後はZになりました。あと1位上がってればトロフィーがもらえたのに残念(森健・26才・自由業)



ニューZでは最高のタイムをマークした54年式の2シーターだ。エンジンはEGIをはずしたL28改の3097ccにソレックスのレース用44φというチュ

8位 フェアレディZ-L

14.84秒

林和之(東京都)



ーン。タコ足から続くアメリカンタイプのデュアルマフラーが両端に大きく突き出している。サスとショックはハヤシで、ボルクの7.5JにビレリーP7R205/60のコンビ。軽量化はいっさいしていないフル装備のZでこのタイムはなかなかのモノ。

◀ “レッドゾーン”というグループが総がかりで作りあげたマシン。ワークスのオーバーフェンダーにヘッドライトを埋めた外観は、出場車中で最も、“族っぽい”けれど、決して見かけ倒しじゃなかった。L28改の3&にウエーバー45φ、50φのタコ足にストレートマフラーというエンジンチューンもさることながら、FRP製のボンネットとリアゲート、フロント以外のアクリルガラスをはじめ、内外装共にとことん軽量化されている。

ニューZの2&モデルにL28Eを搭載し、排気量とEGIはそのままでチューニングしたストリートマシンだ。とはいえ、各部のバランスは綿密にとりなおし、カムやインマニは交換、EGIのコンピューター、エアフローメーターもチューンし、タコ足とデュアルも付く。サス/ショックと、Tバールーフなどの外観はヨーロッパ仕様で決める。当日は前にワタナベ7.5JとミシュランXD X205/60、後にSスター9JとビレリーP7225/55というタイヤの選択もよかったみたい。

10位 フェアレディZ

15.03秒



低中速のフレキシビリティが自慢です。燃費やメンテナンスもいいですよ(高賀茂哲弘・23才・自営業)



◀ CDIはコーエイ製、プラグはプラチナの9番を使う